

国土交通省

東北地方整備局

福島河川国道事務所

郡山国道事務所

磐城国道事務所

三春ダム管理所

摺上川ダム管理所

小名浜港湾事務所

北陸地方整備局

阿賀川河川事務所

福島県内の東北・北陸地方整備局関係 平成27年度事業概要について

福島県内において国土交通省の実施する事業に関する
平成27年度の事業概要についてお知らせします。

〈予算のポイント〉

「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」
及び「地域の活性化」の3分野に重点的に取り組みます。

- 東日本大震災の被災地において、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を推進します。また、震災の記憶と教訓を後世に伝えるための取り組みを推進します。
- 気候変動に伴う水害・土砂災害の頻発・激甚化に備えた予防的な対策及び、災害が発生した地域等において再度災害防止対策を実施します。また、火山噴火等に備えたハード・ソフト対策を推進します。
- 大規模災害に備えた、道路ネットワークの確保や橋梁の耐震対策、道路の防災対策等の緊急輸送道路の強化を推進します。
- 道路、河川、港湾施設の点検・修繕・更新等の老朽化対策を推進します。
- 道路、河川、港湾施設による地域・拠点の連携確保や、賑わいの創出など、地域の活性化・観光振興に資する取り組みを推進します。

〈平成27年度 福島県内直轄事業当初予算〉

(単位：百万円)

事業区分		H26年度予算	H27年度予算
河川関係事業費	国交省計上分	3,936	3,675
	(参考)復興庁計上分	100	100
	計	4,036	3,775
道路関係事業費	国交省計上分	17,322	16,507
	(参考)復興庁計上分	15,027	18,721
	計	32,349	35,228
港湾関係事業費	国交省計上分	0	0
	(参考)復興庁計上分	6,350	5,920
	計	6,350	5,920

※本表の他に、災害復旧費(港湾関係)として8,830百万円がある。
 ※上記金額は、工事関係費(業務取扱費は除く)で記載。
 ※上記金額は、維持修繕関係事業費を除く金額で記載。

〈発表記者クラブ〉

- 福島県政記者クラブ ○福島市政記者クラブ ○郡山記者クラブ
- 会津若松市記者クラブ ○いわき記者会 ○いわき記者クラブ
- いわき市ふるさと発信課 ○南相馬市役所記者クラブ

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

- 福島河川国道事務所 TEL 024-546-4331
 (河川関係)副所長(河川) にへい二瓶 あきひろ昭弘 (内線204)
 (道路関係)副所長(道路) あかさか赤坂 ひろし浩 (内線205)
- 郡山国道事務所 TEL 024-946-0333
 副所長(改築) なかむら中村 みきお幹男 (内線204)
 副所長(管理) ふなやま舟山 よしひろ義広 (内線205)
- 磐城国道事務所 TEL 0246-23-2211
 副所長(改築) ちば千葉 とみひこ富彦 (内線204)
 副所長(管理) さとう佐藤 みのる実 (内線205)
- 三春ダム管理所 TEL0247-62-3145
 所長 すなご砂子 つとむ勉 (内線201)
- 摺上川ダム管理所 TEL 024-596-1275
 所長 ほんだ本田 ひでのり英則 (内線201)
- 小名浜港湾事務所 TEL 0246-53-7100
 副所長 おおとも大友 しやうえつ正悦 (内線302)

◎国土交通省 北陸地方整備局

- 阿賀川河川事務所 TEL 0242-26-6441
 副所長 みた見田 ひろゆき弘幸 (内線204)

【平成27年度 福島県内 主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	H27事業内容	頁
●新規事業					
河川 (砂防)	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川水系砂防事業(不動沢第4砂防堰堤)	ふくしま 福島市	砂防堰堤工	P5
河川 (砂防)	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川水系砂防事業(前川第3砂防堰堤)	ふくしま 福島市	砂防堰堤工	
道路	直轄	なごま 国道6号 勿来バイパス	いわき市	調査設計	P6
道路	直轄	じゅうもんじ 国道399号 十文字改良	★ いわき市	調査設計	P7
道路	直轄	くにみ 国道4号 福島4号交差点改良等(国見地区付加車線整備)	だて くにみまち 伊達郡国見町	調査設計	
道路	直轄	みやした ないり 町道宮下・名入線	みしま おおほし 大沼郡三島町	調査設計、工事	P8
●完成・開通予定事業					
河川	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川上流 土地利用一体型水防災事業(二本松・安達地区)	にほんまつ 二本松市	嵩上げ等	P9
河川 (砂防)	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川水系砂防事業(東鴉川第5砂防堰堤)	ふくしま 福島市	砂防堰堤工	
道路	直轄	あいつじゅうかんきた 国道121号 会津縦貫北道路	きたかた 喜多方市～ あいつわかまつ 会津若松市	全線2車線開通 改良・橋梁・舗装 工事	P10
道路	直轄	しらかわ 国道4号 白河拡幅	にししらかわ にしごう 西白河郡西郷村 しらかわ ～白河市	全線4車線開通 改良・舗装工事	
道路	直轄	じょうばん 国道6号 常磐バイパス	いわき市	部分4車線開通 改良・橋梁・舗装 工事	P11
道路	直轄	ひさのほま 国道6号 久之浜バイパス	いわき市	全線2車線開通 改良・舗装工事	
道路	直轄	たにしお 国道6号 福島6号交差点改良等(平塩交差点改良)	いわき市	交差点改良 改良舗装工事	
道路	直轄	かめだ 国道49号 福島49号電線共同溝(亀田地区)	こおりやま 郡山市	支障移転補償、 本体工事、路面 復旧工事	
港湾	直轄	そうまこう 相馬港 航路・泊地整備事業	★ そうま しんちまち 相馬市・新地町	浚渫工	P12
●継続事業					
河川	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川上流 河川改修事業 (はまおゆすいち (浜尾遊水地)(本宮左岸地区)(伏黒地区)	すかがわ 須賀川市、 もとみや だて 本宮市、伊達市	遊水地内掘削 築堤、樋門、橋梁 架替、浸透対策	P13
河川	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川上流 本宮地区かわまちづくり	もとみや 本宮市	避難誘導看板等	P14
河川 (砂防)	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川水系砂防事業(塩の川第7砂防堰堤) (あらかわゆるこう (荒川流路工)(下高湯沢第1砂防堰堤)	ふくしま 福島市	砂防堰堤工 流路工	P15
河川 (砂防)	直轄	あぶくまがわ 阿武隈川水系砂防事業(不動沢第3砂防堰堤)	★ ふくしま 福島市	砂防堰堤工	
河川	直轄	あががわ 阿賀川下流狭窄部改修(長井地区)	きたかた 喜多方市	河道掘削 法面对策	P15
河川	直轄	あががわ 阿賀川河川改修事業(宮古地区)	あいつぼんげまち 会津坂下町	築堤	

事業区分		事業名	市町村名	H27事業内容	頁
●継続事業					
河川	直轄	あががわかせんかしゆあぎょう あおつちくしんどうたいさく 阿賀川河川改修事業(青津地区浸透対策)	あいづぼんげまち 会津坂下町	浸透対策工	
道路	直轄	東北中央自動車道 ふくしま よねざわ 福島～米沢	ふくしま 福島市	調査設計、改良・橋梁・トンネル・舗装工事	P16
道路	直轄	国道121号 湯野上バイパス	みなみあいづ しもごうまち 南会津郡下郷町	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道4号 鏡石拡幅	いわせ かがみしまち 岩瀬郡鏡石町	調査設計、用地補償、舗装工事	
道路	直轄	国道4号 伊達拡幅	だて 伊達市 だてくにもまち ～伊達郡国見町	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道13号 ふくしまにし 福島西道路(Ⅱ期)	ふくしま 福島市	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道49号 たいら 平バイパス	いわき市	調査設計、用地補償、トンネル工事	
道路	直轄	国道49号 きたよしま 北好間改良	いわき市	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道49号 いなわしろ 猪苗代拡幅	やま いなわしろまち 耶麻郡猪苗代町	調査設計、用地補償、舗装工事	
道路	直轄	国道49号 あいづ 会津防災	かわぬま やないづまち 河沼郡柳津町 やま にしあいづまち ～耶麻郡西会津町	調査設計	
道路	直轄	国道115号 そうまふくしま そうま そうまにし 相馬福島道路(相馬～相馬西) ★	そうま 相馬市	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道115号 そうまふくしま あぶくまひがし 相馬福島道路(阿武隈東道路) ★	そうま 相馬市	調査設計、用地補償、トンネル工事	P16
道路	直轄	国道115号 そうまふくしま あぶくまひがし あぶくま 相馬福島道路(阿武隈東～阿武隈) ★	そうま 相馬市 だて ～伊達市	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道115号 そうまふくしま りょうぜん 相馬福島道路(霊山道路) ★	だて 伊達市	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道115号 そうまふくしま りょうぜん ふくしま 相馬福島道路(霊山～福島) ★	だて 伊達市 だてごおりまち ～伊達郡桑折町	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道4号 福島4号交差点改良等(図景一丁目交差点改良) ずけいいちちようめ	ごおりやま 郡山市	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	
道路	直轄	国道6号 福島6号交差点改良等(小川地区交差点改良) おがわ	そうま しんちまち 相馬郡新地町	調査設計等	
道路	直轄	国道13号 福島13号交差点改良等(大町地下横断歩道整備)	ふくしま 福島市	地下歩道工事	
道路	直轄	国道49号 福島49号交差点改良等(喜久田地区交差点改良) きくた	ごおりやま 郡山市	調査設計	P17
道路	直轄	国道49号 福島49号交差点改良等(山中交差点改良) さんちゆう	ごおりやま 郡山市	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	
道路	直轄	国道4号 福島4号電線共同溝(松浪町地区) まつなみちゆう	ふくしま 福島市	支障移転補償、本体工事	P17
港湾	直轄補助	そうまこう ぎょう とう 相馬港 3号ふ頭地区 国際物流ターミナル(耐震)整備事業 ★	そうま しんちまち 相馬市・新地町	直轄:防波堤本体工	
港湾	直轄	おなまはこう ひがしこう 小名浜港 東港地区 国際物流ターミナル整備事業 ★	いわき市	岸壁本体工、浚渫工	P18

※ ★の事業は復興庁からの配分事業である。
 ※ 事業費の()の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

あぶくまがわ 阿武隈川水系直轄砂防事業		ふどうさわ 不動沢第4砂防堰堤		H27:742百万円※	
				完成予定:H30年代	
新規	福島県福島市	河川(砂防)	直轄		

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費(工事諸費を除く)を記載

【事業の概要】

須川は吾妻山火山噴火による降灰後の土石流発生が懸念されるとともに、荒廃も著しく土砂生産が活発であり、福島市街地、東北自動車道等の重要交通網を保全するため、砂防堰堤を整備します。



【整備効果】

不動沢第4砂防堰堤を含む今後30年間で整備する砂防施設50基により、土石流等による氾濫面積を約1,400ha減少させるとともに、約5,900戸の家屋被害を軽減します。



吾妻山の状況



下流域の保全対象(福島市街地)

【平成27年度の事業内容】

砂防堰堤工事着手に向けて、用地調査等を実施します。

国道6号 勿来バイパス

H27:25百万円
(福島県)

新規

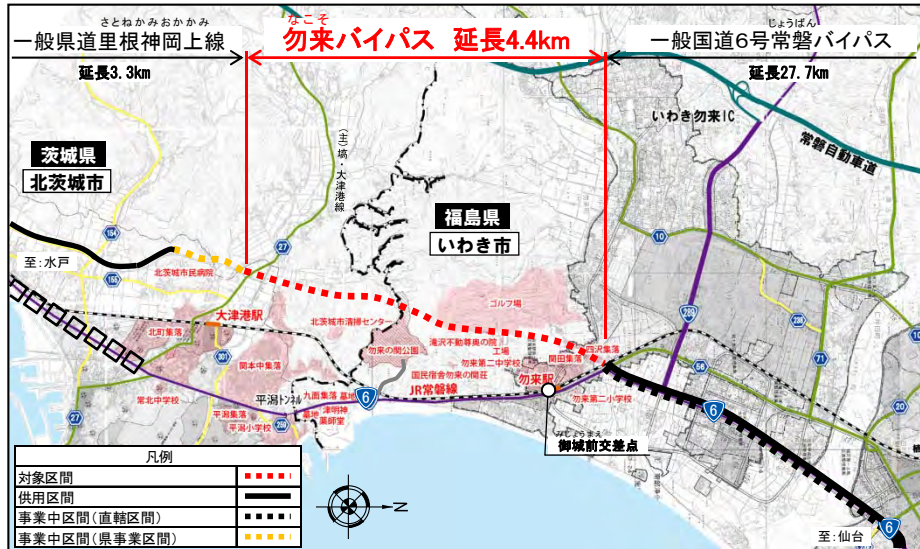
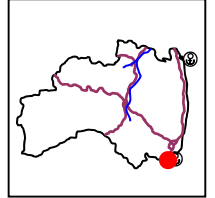
茨城県北茨城市～福島県いわき市

道路

直轄

【事業の概要】

勿来バイパスは、国道6号の茨城・福島県境における津波浸水区間の回避と渋滞緩和等を目的とする道路です。



【整備効果】

- 津波浸水等の災害リスクを回避するネットワークが確保できます。
- 渋滞の緩和、アクセス改善により、未だ回復途上にある茨城・福島県境沿岸地域の観光地再生が期待されます。



▲国道6号(御城前交差点付近)の状況



▲国道6号沿線の主要観光施設

【平成27年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

国道399号 十文字改良

H27:300百万円

新規

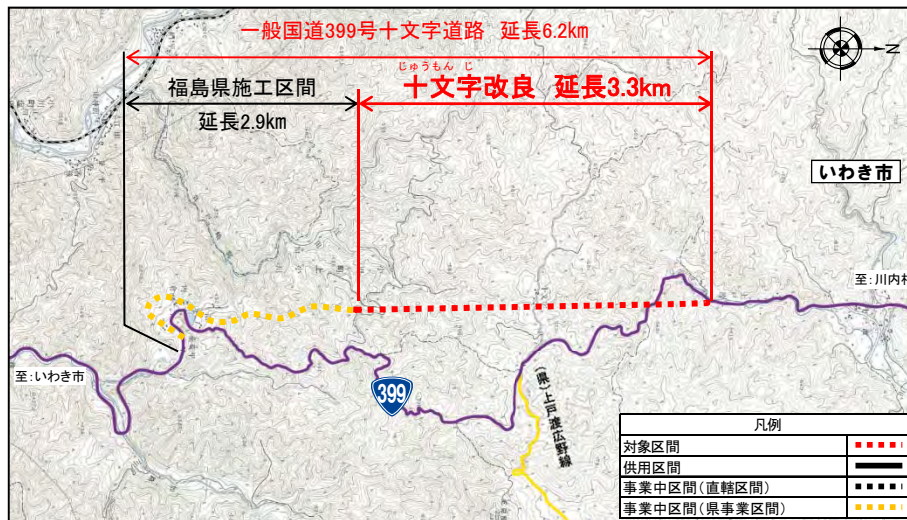
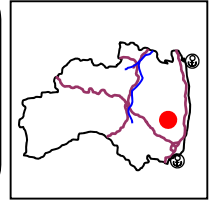
福島県いわき市

道路

直轄

【事業の概要】

十文字改良は、国道399号の事前通行規制区間や防災危険箇所、未改良区間の回避により、住民生活等における定時性や速達性の確保を目的とする防災事業ですが、改築規模が大きく、長大トンネルの施工を要し、高度な専門技術を必要とすることから、国による代行事業として整備するものです。



【整備効果】

- 事前通行規制区間や防災危険箇所、線形不良及び幅員狭小などの未改良区間の回避により、住民生活等における安心・安全な交通が確保されます。
- 東日本大震災に伴う原子力災害からの、避難解除等区域の復興・再生を支援します。(避難指示解除準備区域の解除が進む川内村の帰村を支援します。)



▲国道399号の状況



▲幅員狭小・線形不良状況

【平成27年度の事業内容】 調査設計・改良工事等を実施します。

町道宮下・名入線 三島大橋修繕代行事業

H27:100百万円

新規

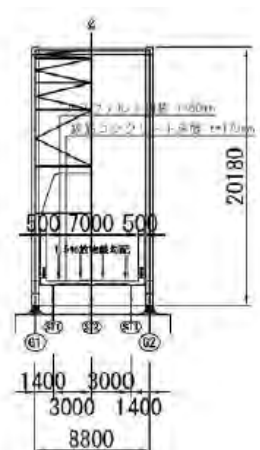
福島県大沼郡三島町

道路

直轄

【事業の概要】

三島大橋は三島町が管理する町道宮下名入線の只見川に架かる橋梁であり、高力ボルトの破断・脱落及び鋼部材の塗装や床版の劣化損傷が進行しているが、補修には高度な専門知識等を要することから、国による修繕代行事業として橋梁保全対策を行うものです。



▲標準断面図

【整備効果】

橋梁保全対策の実施により、橋梁の健全度の確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。



▲三島大橋 全景



▲アーチリブの高力ボルト破断・抜け落ち状況



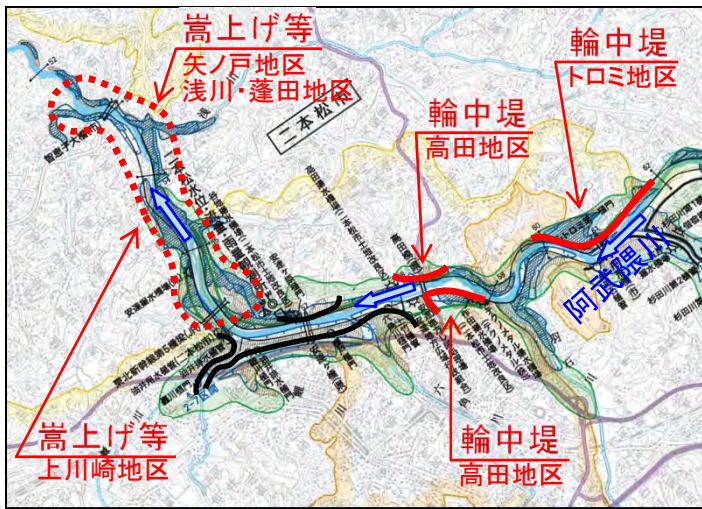
▲補剛桁の高力ボルト破断・抜け落ち状況

【平成27年度の事業内容】 調査設計・補修工事等を実施します。

あぶくまかわ 阿武隈川上流 土地利用一体型水防災事業(二本松・安達地区)		にほんまつ・あだち H27:440百万円	
完成	福島県二本松市	河川	直轄

【事業の概要】

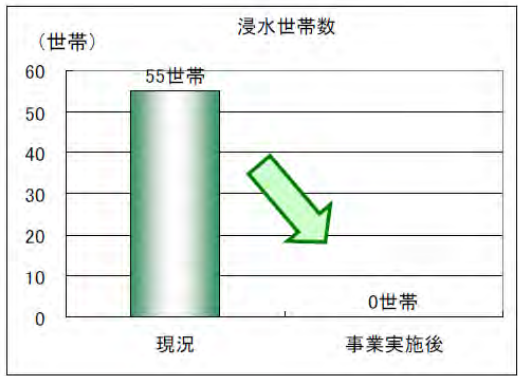
- ・二本松・安達地区は狭窄区間であり、洪水時は水位の上昇が早く、洪水継続時間も長いため、集落の孤立化が課題となっています。
- ・また、近年頻発する洪水によって浸水被害が発生していることから、輪中堤や嵩上げ等の対策により、被害軽減を図ります。



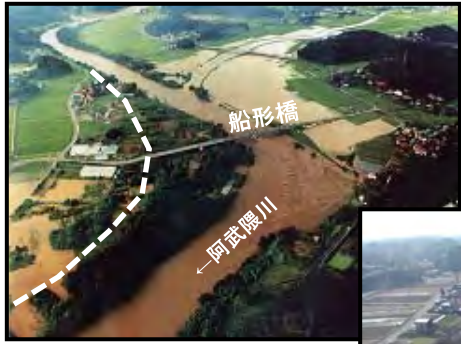
【整備効果】

- ・「輪中堤・嵩上げ等」を整備することにより当該地区の浸水被害(55世帯)を軽減します。

事業効果 (整備前→整備後)



▲昭和61年8月規模(整備計画規模)の洪水により浸水被害が想定される世帯数



H10.8洪水の浸水状況



輪中堤完成後(トロミ地区)

【平成27年度の事業内容】

- ・輪中堤及び嵩上げ等を実施し、当該地区の事業を完成させます。

国道121号 会津縦貫北道路

H27:1,354百万円

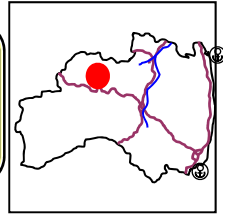
開通

福島県喜多方市～会津若松市

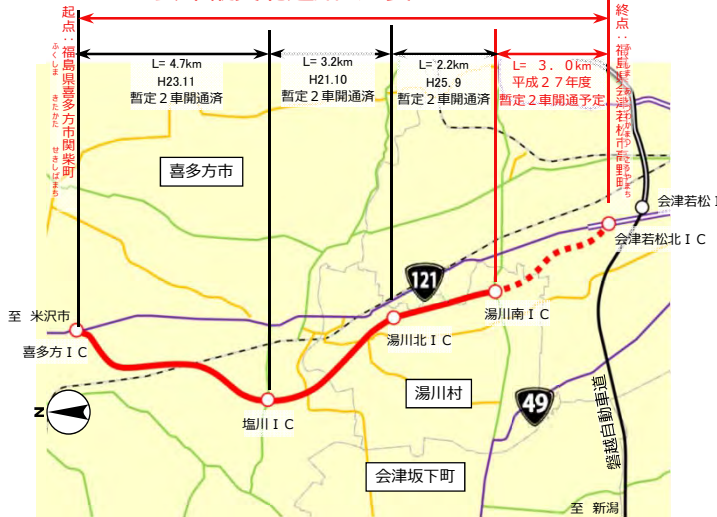
道路

直轄

国道121号 会津縦貫北道路は、喜多方市から会津若松市間の交通混雑を緩和するとともに、広域的な連携を図る自動車専用道路です。



会津縦貫北道路 延長13.1km



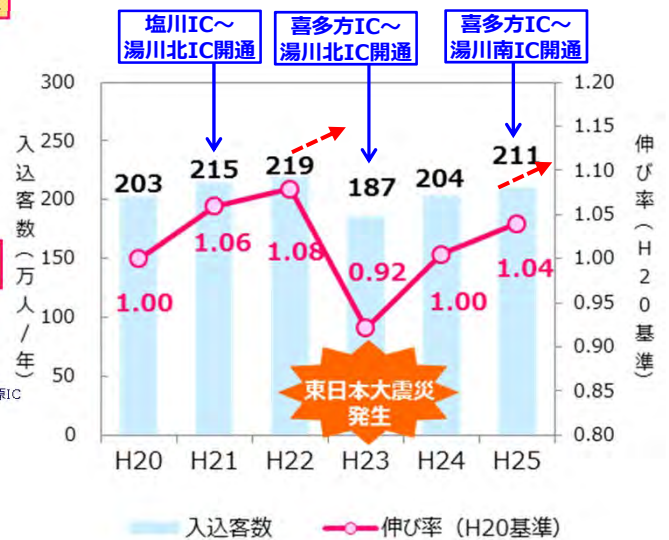
至 会津若松市街

【整備効果】

磐越自動車道会津若松ICとのアクセス性向上により、会津地方の主要観光拠点間の移動がスムーズになり、観光入込客数の増加が期待されます。



▲会津地方の主要観光地



▲喜多方市の観光入込客数の推移(H20～H25)

【平成27年度の事業内容】

全線2車線開通に向けて、改良・橋梁・舗装工事等を実施します。

国道6号 常磐バイパス

H27:770百万円

開通

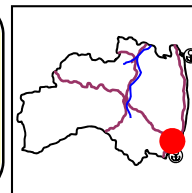
福島県いわき市

道路

直轄

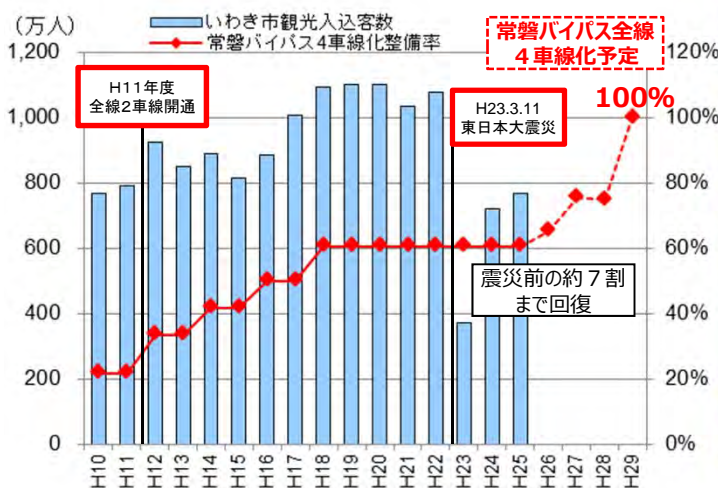
【事業の概要】

常磐バイパスは、国道6号における交通混雑の緩和、交通事故の減少を図るとともに、観光活性化等による復興支援を目的とした4車線拡幅事業です。



【整備効果】

・常磐バイパスの4車線拡幅整備により交通混雑の緩和が図られ、いわき市周辺観光地へのアクセス性が向上し、更なる観光入込客数の回復が期待されます。



▲いわき市入込観光客数の推移

資料：福島県観光入込客数



▲国道6号の渋滞状況

【平成27年度の事業内容】

部分4車線開通に向けて、改良・舗装工事及び橋梁工事等を実施します。

そうまこう
相馬港 航路・泊地整備事業

H27:2,400百万円

完成

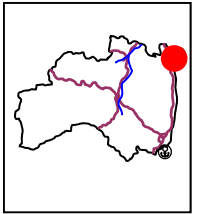
福島県相馬市、新地町

港湾

直轄

【事業の概要】

大型船舶によるLNGの大量一括輸送の実現を目的に、航路・泊地の整備を行います。



【整備効果】

大型LNG船が入港可能となることで輸送コストの削減と安定的なLNGの輸入が可能になり、相馬港を拠点としたLNGの広域かつ効率的な輸送ネットワークが形成されるとともに、災害時におけるエネルギー供給の多重性が確保されます。さらには、当該LNG基地の立地により、隣接地に発電所の立地が計画されているなど、新たな企業立地による地域経済の活性化が期待されます。



▲相馬LNG受入基地完成イメージ
(出典:石油資源開発(株)HPより)



▲現況(青着色)及び将来(赤着色)のLNGパイプラインネットワーク (出典:石油資源開発(株)HPより)

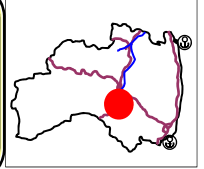
【平成27年度の事業内容】

航路・泊地を整備し、今年度で事業を完了させます。

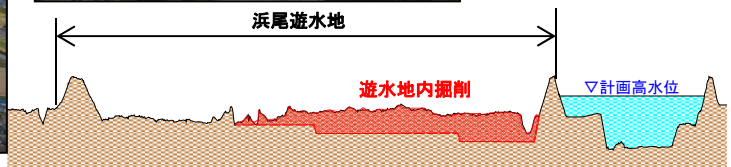
あぶくまかわ 阿武隈川上流 河川改修事業(浜尾遊水地)		はまお H27:1,523百万円※	
		完成予定:H30	
継続	福島県 ^{すかがわ} 須賀川市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費(工事諸費を除く)を記載

平成23年9月台風15号の洪水により、資産・家屋が集中する郡山・須賀川市街地区間において計画高水位を超過し、浸水被害が発生していることから、浜尾遊水地を掘削して洪水調節容量の拡大を図ります。



浜尾遊水地の洪水調節容量の増により、下流の市街地部の浸水被害を軽減します。



あぶくまがわ 阿武隈川上流 河川改修事業(本宮左岸地区)		もとみや さがん H27:1,523百万円※	
		完成予定:H30年代	
継続	福島県本宮市	河川	直轄
あぶくまがわ 阿武隈川上流 本宮地区かわまちづくり		H27:5百万円※	
		完成予定:H30年代	
継続	福島県本宮市	河川	直轄

※上記の事業費は、事業別に当該河川全体の事業費(工事諸費を除く)を記載

本宮左岸地区は、堤防の高さが計画より低いため、これまで度々浸水被害を受けてきたことから、堤防整備により治水安全度の向上を図ります。

本事業箇所は住宅や商店が密集する本宮市の中心市街地と隣接しているため、まちづくりと一体となった河川改修事業を展開していきます。

平成27年度は河川改修で堤防整備及び橋梁架替、かわまちづくりにおいて案内板を整備します。



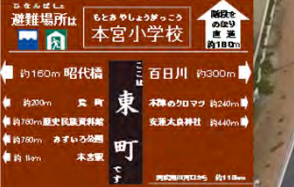
まちづくりと一体となった整備イメージ



完成した堤防と水辺に近づく階段



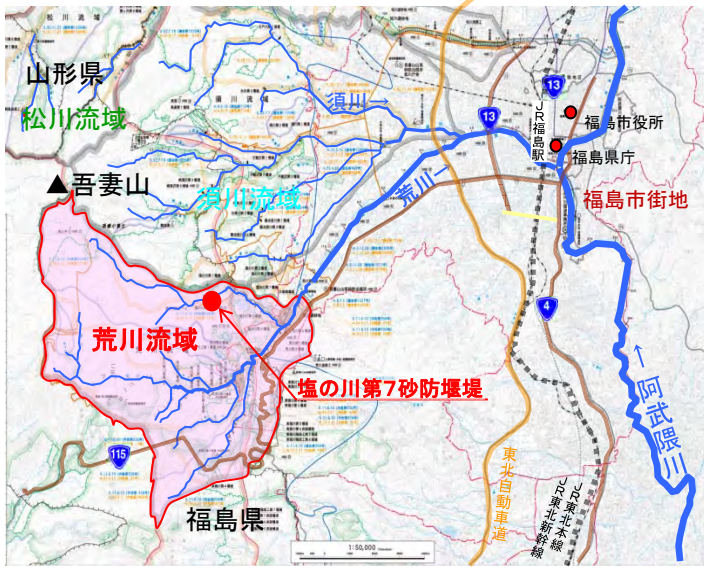
案内板イメージ



あぶくまがわ 阿武隈川水系直轄砂防事業		しおかわ 塩の川第7砂防堰堤		H27:742百万円※
				完成予定:H30年代
継続	福島県福島市	河川(砂防)	直轄	

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費(工事諸費を除く)を記載

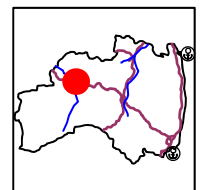
吾妻山の火山噴火による土砂災害から、福島市街地、東北自動車等の重要交通網を保全するため、砂防堰堤を整備します。



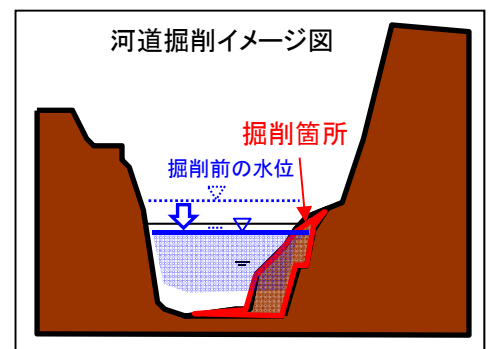
あががわ 阿賀川 河川改修事業(下流狭窄部改修(長井地区))		ながい 河川改修事業(下流狭窄部改修(長井地区))		H27:965百万円※
				完成予定H30年代
継続	福島県喜多方市	河川	直轄	

※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費(工事諸費を除く)を記載

阿賀川下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時に狭窄部上流で水位がせき上がり、水害発生の原因となっています。このため、狭窄部上流の水位せき上げの解消を目的として、継続して河道掘削を実施します。



河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。



東北中央自動車道 福島～米沢

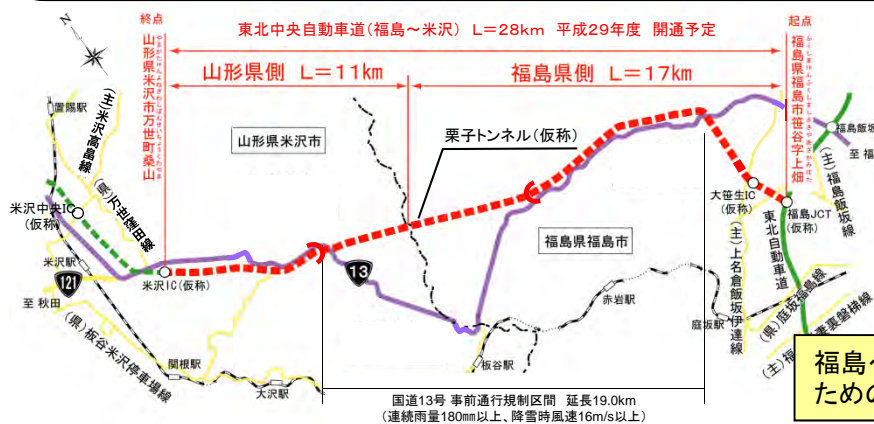
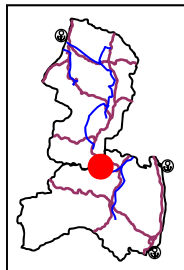
H27: 8,756百万円

(山形県 2,500百万円、福島県 6,256百万円)

開通予定: H29

継続	福島県福島市～山形県米沢市	道路	直轄
----	---------------	----	----

東北中央自動車道は、福島県相馬市から秋田県横手市間に計画されている延長約270kmの高速自動車国道です。
 福島～米沢間は、東北中央自動車道の一部を構成し、国道13号の事前通行規制区間や豪雪災害による道路寸断に対する代替性を確保することを目的とした、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。



▲国道13号 H14.7.11 土砂崩落
(事前通行規制実施中に被災)

福島～米沢間の整備により、代替性の確保のための道路ネットワークの整備が図られます。

国道115号 相馬福島道路(阿武隈東道路)

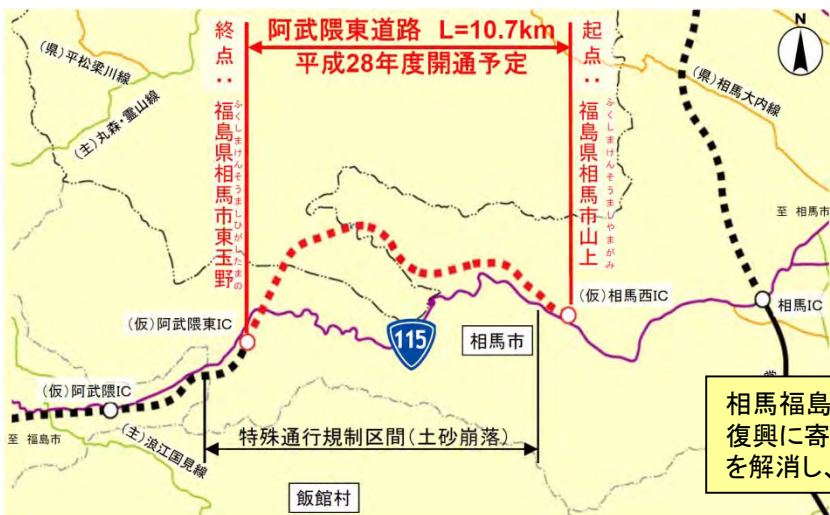
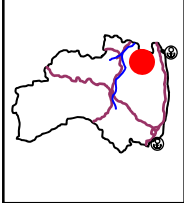
H27: 850百万円

(宮城県 34百万円、福島県 816百万円)

開通予定: H28

継続	福島県相馬市	道路	直轄
----	--------	----	----

復興支援道路である相馬福島道路(阿武隈東道路)は、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路であり、相馬市内における隘路区間の回避及び特殊通行規制区間の解消を図り、救急医療圏の拡大、物流の効率化や早期復旧・復興の推進を目的とする道路です。



▲相馬福島道路(阿武隈東道路)の整備状況

相馬福島道路(阿武隈東道路)の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、隘路区間の回避や通行規制区間を解消し、交通の安全を確保します。

きくた

国道49号 福島49号交差点改良等(喜久田交差点改良)

H27:48百万円

開通予定:—

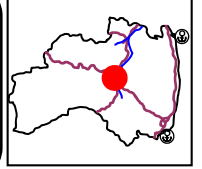
継続

福島県郡山市

道路

直轄

国道と市道が交わる交差点において、国道から市道への右折車により、後続直進車の通行が阻害され、追突事故等が発生していることから、右折車線を整備し交通事故の削減や交通の円滑化を図ります。



▲右折車が直進車を阻害している状況



国道4号 福島4号電線共同溝(松浪町地区)

まつなみちよう

H27:314百万円

開通予定:—

継続

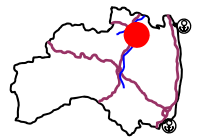
福島県福島市

道路

直轄

【事業の概要】

松浪町地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化を図ることにより、安全で快適な歩行空間を確保並びに震災時における緊急輸送路の確保するとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。



電線共同溝の整備により、都市防災を高め、二次被害を防ぎ、搬送及び避難経路を確保します。

おなはまこう ひがしこう
小名浜港 東港地区 国際物流ターミナル整備事業

H27:3,090百万円

完成予定:H30

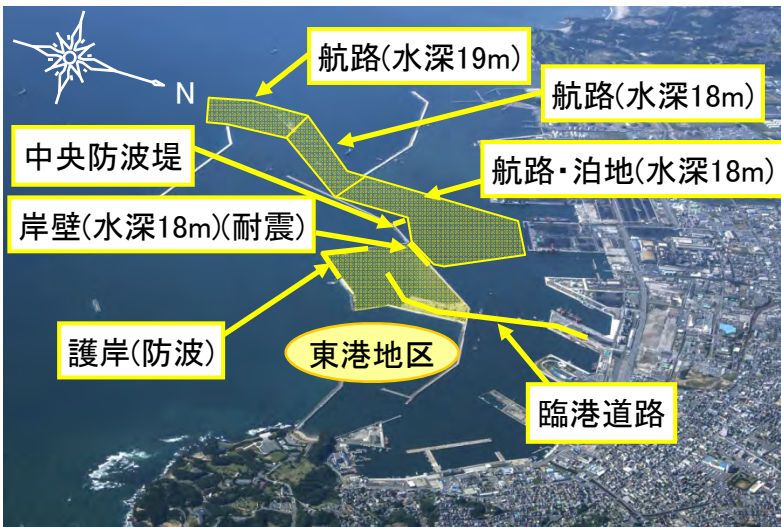
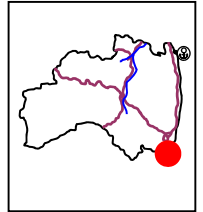
継続

福島県いわき市

港湾

直轄

資源・エネルギー等の広域的、効率的な海上輸送ネットワークの拠点となる大型輸送船に対応した国際物流ターミナルを整備します。また、耐震強化岸壁を整備することにより、災害時にも継続的な物流を確保します。



▲石炭運搬船による荷役状況